



優秀賞 (水回り部門)

タイトル

光を得た水回り

タイプ

持家一戸建

講評

北側で日当たりが悪かったので南側に移したDKは、古民家風に小屋組を露出させることで最大4メートルの天井高さを確保し、トップライトを設けることで、十分な採光が得られ、断熱化と併せて広く明るく暖かい空間となった。

リフォーム前後の写真



A DK

(写真上)小屋裏も取り込み、天井高は最頂部で約4メートルに。明るく広がりがあるDKとした。(写真下)透過光性のある間仕切りを採用。閉じている時も、リビング側でトップライトの光を感じることができる。

トップライト

勾配天井にトップライトを設置。白い壁が光を反射して明るさをアップ。

B ダイニング・キッチン

北側で寒かったダイニング・キッチンを東南に。明るさもあたたかさも一新。



C キッチン 「白いキッチンにしてとてもよかった」と奥さまもあらためて喜ばれた。



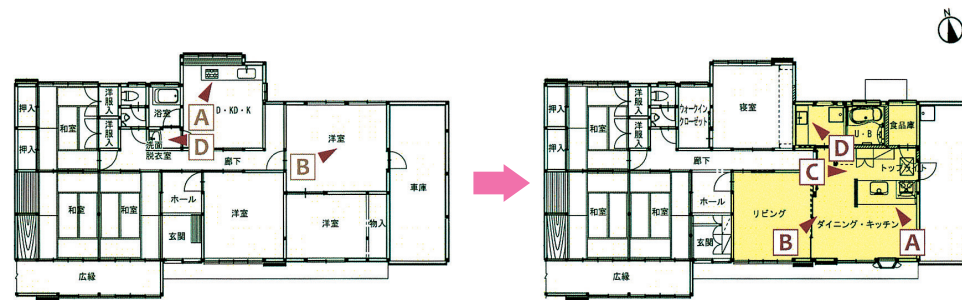
D 洗面 1帖弱の窓のない洗面室が2帖余の明るく清潔感のある空間に。

リフォーム前



リフォーム前

リフォーム後



Scale=1/230

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機・施主のこだわり》

キッチンをリフォームして、団らん空間も合わせてオープンで明るい雰囲気になりたい。浴室や洗面室なども暗く、冬に寒い。

《設計・施工の工夫》

○北側に位置していたDKは、採光のよい東南に移動。平屋のメリットを活かして梁をあらわし、小屋裏まで取り込んだ勾配天井に変更した。天井の最も高い場所は以前の1.6倍もの約4メートルという広がりがある空間とした。

ている。天井にはトップライトも設け、十分な採光を確保した。リビングとの間は光を通すパーティションで間仕切りし、つなげても独立しても使えるようにした。

○床等は既存の梁に合わせてダークブラウンとし、壁面やキッチン本体、システムバス等はホワイトを基調にして、明るさと清潔感を演出した。

《施主の感想》

◎水回りがどこもとても明るくなって、気持ちのいい空間になりました。

特に配慮した住宅性能： ■床、壁、天井すべてに断熱材を充填し、オール電化を導入。 ■既存和室に合わせて、床下構造から手を加えて段差も解消。

データ

所在地	三重県鈴鹿市	構造/築後年数	在来木造/41年
該当工事面積	46 m ² /総工事床面積 76 m ²	該当部分工事費	1,080 万円/総工事費 1,551 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 3人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ペット:		
設計会社	住友林業ホームテック(株)	担当者	上川 浩司
施工会社	同上	担当者	矢田 真也